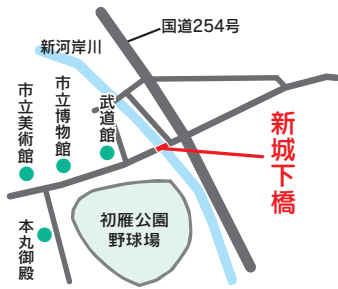


昨年開通した市道0001号線新城下橋は、国道254号や伊佐沼方面と市街地を結ぶ新たな幹線道路。新城下橋は、新河岸川の上に架けられました。

川越には神社や寺が多いので、この橋の高欄には、宝珠が乗っています。また、近くに本丸御殿があり、城の入り口に当たるといふことで、欄干は木橋をイメージしています。

橋のたもとにある街灯を見上げると、電球を覆う部分が、蔵造り風になっています。暗くなつてから明かりのついた街灯を見ると、蔵造りの建物に明かりがともされたように見えます。

新城下橋は、川越らしさを備えつつ、北の玄関口としての機能を果たしています。

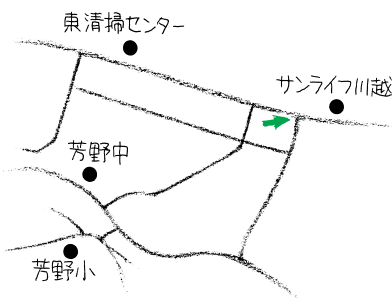


- ①新城下橋の高欄の宝珠
- ②日中の街灯
- ③暗くなつて明かりがともされた街灯

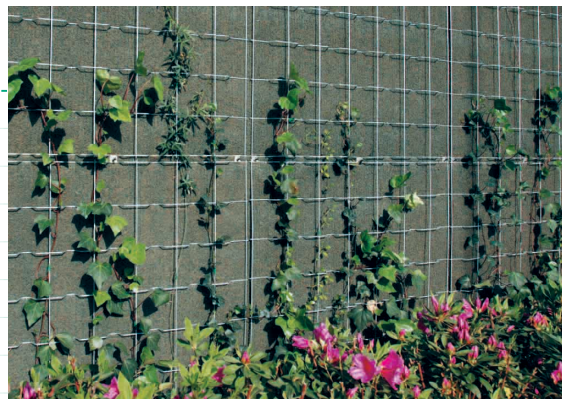
どんぐり

編集後記

桜が散り行くのを待っていたかのように、木々の若葉が開き始めました。この広報が市民の皆さんのお手もとに届くころには、私の大好きなバラをはじめ、いろいろな花が庭先や公園などに咲きそろっていることと思います。5月は正に、新緑と彩り鮮やかな花々の共演。心が安らぎます。気候もよく、屋外でのスポーツや、散策など絶好の時期です。自分の好きな方法を選んで、すがすがしい汗をかき、心身共に健康になるきっかけにしたいものです。



表紙の地図



1m20cmほどに成長をしているヘデラなどの植物



植物はこの壁を登って、頂上を目指します

環境トピックス

壁面緑化で涼しく過ごす②

ことし1月、川越小学校の校舎西面で壁面緑化を始めました。この壁面緑化は、天然ヤシ繊維のマットとメッシュフェンスに、つる植物を登らせていく手法で、ヘデラ・ノウゼンカズラ・カロライナジャスミン・トケイソウなどを植栽しています。

この壁面緑化、今は苗を植え付けたばかりなので、植物が目立ちません。しかし、7年~10年後には壁の頂上(約15m)まで成長して、強い西日が建物に直接当たるのを防ぎ、建物内の温度上昇を抑え、個性的な緑化空間となる予定です。

将来、学校の特色として子どもたちに親しまれるとともに、本市の環境配慮への象徴になることが期待されます。

問い合わせ…環境政策課みどりの係・TEL内線2615